環境アニュアルレポート2024

株式会社ＮＥＣライベックス

\Orchestrating a brighter world NEC

目次

頁

◆ ごあいさつ 3

◆ 1．会社概要 4

◆ 2．環境マネジメントシステム （現状と取り組み） 5

◆ 3．環境目標および実績 16

◆ 4．環境負荷状況 （マテリアルバランス） 18

◆ 5．主な環境負荷低減活動 19

◆ 6．社会貢献活動 23

本レポートは、次の対象範囲、活動期間についてまとめています。

対象範囲：ISO14001認証取得範囲の拠点
※本社および6関連事業所(6頁参照)

活動期間：2023年4月1日～2024年3月31日（2023年度）
※対象期間前後の情報も含みます

ごあいさつ

私は、NECライベックスの代表取締役執行役員社長の取屋憲治と申します。2024年度の環境アニュアルレポートを発行するにあたり、一言、ご挨拶を申し上げます。

当社は、NECグループの中でも唯一「食」に特化した会社で、「安全・安心で良質なサービスの提供」をサービスモットーとして事業運営を行っております。コロナ禍を経てお客様の環境が大きく変化し、従来とは違った形でサービス活動を展開せざるを得ない状況にありましたが、「とどけるまごころ、生まれる笑顔」を合言葉に当社の事業サービスを通じて、お客様一人ひとりの“より元気に・より便利に・より幸せに“を実現し続けてまいります。

NECでは、2021年度に環境中期計画「NECエコアクション2025」を策定し、NECグループ全体でカーボンニュートラルに向け進みつつあります。当社も、このコンセプトである「地球と共生して未来を守る」を共有し、事業を推進しています。

特に食品ロス対策については、当社の環境方針にも掲げているとおり、重点活動の1つでもあります。また、食物循環型システムによるリサイクルの推進、フードロス削減、プラスチック資源循環促進、廃食油リサイクルのバイオ燃料化、子ども食堂支援など、これらのトピックスについても積極的に取り組んでいます。

当社は、1998年にオフィス向け食堂・売店を運営する複合事業体として、業界で初めてISO14001をNEC本社ビルにおいて認証取得しました。また、2007年に取得範囲を拡大し、現在は本社および6ヵ所の関連事業所に至っています。これらの取り組みは、当社の環境負荷低減と持続可能な社会づくりへの貢献を具体化しています。

環境保護については、NEC事業場の食堂で生ごみをコンポスト化し微生物を利用して生ごみを分解し水分と炭酸ガスに変換して処理しています。またプラスチック資源循環促進の一環として、売店等のプラスティック製品の素材変更や有償化など、特定プラスチック使用製品の削減に積極的に取り組んでいます。

当社の売店では、消費期限が近くなりそのまま廃棄予定の食品を特定非営利活動法人みなと子ども食堂へ定期的に寄贈する取り組みを開始しました。

私たちは、これらの取り組みを通じて、社会と共に成長し、持続可能な未来を創造することを目指しています。今後とも、NECライベックスの取り組みにご期待いただければ幸いです。

2024年 8月
株式会社ＮＥＣライベックス
代表取締役執行役員社長
取屋 憲治

© NEC Corporation 2024

1．会社概要

当社は、ＮＥＣグループを中心とした福利厚生業務の専業アウトソーシング会社として、専門性の追求と品質・サービスの拡充に努め、お客様に、より満足のいただけるライフソリューションのご提供を心がけています。

◆会社概要

会社名　：株式会社ＮＥＣライベックス
本　社　：東京都港区三田1-4-28 三田国際ビル6階
設　立　：1970年10月14日
代表者　：代表取締役執行役員社長　取屋 憲治
資本金　：１億円
従業員数：1,402名(2024年3月末現在)
売上高　：92億円(2024年3月期)
事業内容：ＮＥＣグループを中心とした福利厚生、オフィスビジネス等のサービス業
営業拠点：168拠点（2024年4月1日現在）

◆経営方針

1．お客様本位
2．事業・サービスの継続
3．新しいことへの挑戦
4．従業員の誇りと尊厳
5．自然・社会との調和

サービスモットー
「安全・安心で良質なサービスの提供」

私たちＮＥＣライベックスは、常にお客様を中心に考え事業を行います。
お客様のWell-Beingに繋がる価値を提供し続け、そのために新しい提案や変革に取り組んで参ります。
お客様にサービスを提供する従業員が元気であり、自然・社会と調和した、事業の運営に努力して参ります。

© NEC Corporation 2024

2．環境マネジメントシステム（現状と取り組み）

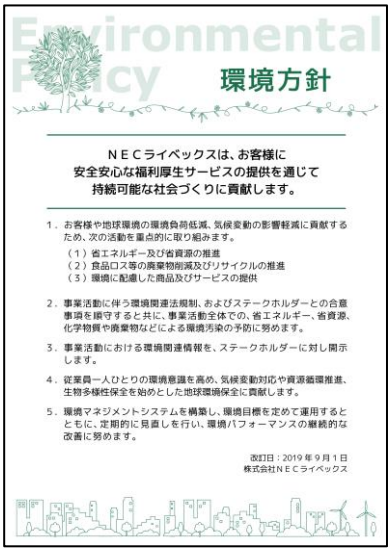
当社は、環境方針を制定し、国際規格である ISO14001に準じた環境マネジメントシステムを構築し、継続的に改善を図るため、年間計画に沿った環境活動を推進しています。

（1）環境方針

ＮＥＣライベックスは、お客様に安全安心な福利厚生サービスの提供を通じて持続可能な社会づくりに貢献します。

1．お客様や地球環境の環境負荷低減、気候変動の影響軽減に貢献するため、次の活動を重点的に取り組みます。
（1）省エネルギーおよび省資源の推進
（2）食品ロス等の廃棄物削減およびリサイクルの推進
（3）環境に配慮した商品およびサービスの提供

2．事業活動に伴う環境関連法規制、およびステークホルダーとの合意事項を順守すると共に、事業活動全体での、省エネルギー、省資源、化学物質や廃棄物などによる環境汚染の予防に努めます。


Environmental Policy
環境方針

ＮＥＣライベックスは、お客様に
安全安心な福利厚生サービスの提供を通じて
持続可能な社会づくりに貢献します。

1．お客様や地球環境の環境負荷低減、気候変動の影響軽減に貢献するため、次の活動を重点的に取り組みます。
（1）省エネルギー及び省資源の推進
（2）食品ロス等の廃棄物削減及びリサイクルの推進
（3）環境に配慮した商品及びサービスの提供

2．事業活動に伴う環境関連法規制、およびステークホルダーとの合意事項を順守すると共に、事業活動全体での、省エネルギー、省資源、化学物質や廃棄物などによる環境汚染の予防に努めます。

3．事業活動における環境関連情報を、ステークホルダーに対し開示します。

4．従業員一人ひとりの環境意識を高め、気候変動対応や資源循環推進、生物多様性保全を始めとした地球環境保全に貢献します。

5．環境マネジメントシステムを構築し、環境目標を定めて運用するとともに、定期的に見直しを行い、環境パフォーマンスの継続的な改善に努めます。

改訂日：2019年9月1日
株式会社ＮＥＣライベックス

環境方針ポスター

3．事業活動における環境関連情報を、ステークホルダーに対し開示します。

4．従業員一人ひとりの環境意識を高め、気候変動対応や資源循環推進、生物多様性保全を始めとした地球環境保全に貢献します。

5．環境マネジメントシステムを構築し、環境目標を定めて運用するとともに、定期的に見直しを行い、環境パフォーマンスの継続的な改善に努めます。

制定日：2007年 4月 1日
改訂日：2019年 9月 1日
株式会社ＮＥＣライベックス
代表取締役執行役員社長
取屋 憲治

© NEC Corporation 2024

（2） ISO14001認証

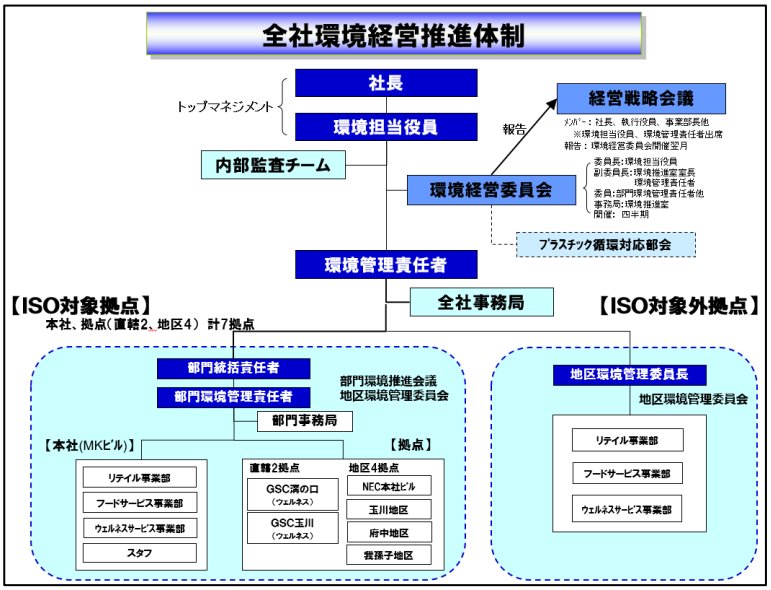
当社は、1998年10月、オフィス向け食堂・売店を運営する複合事業体として、業界で初めてISO14001をＮＥＣ本社ビルにおいて認証取得しました。
また、2007年12月、取得範囲を拡大し、現在は本社および6ヵ所の関連事業所に至っています。

登録事業者　：株式会社ＮＥＣライベックス
登録活動範囲：NECグループを中心とした福利厚生、
オフィスビジネス等のサービス業
（売店・食堂・宿泊施設運営、厚生
文体施設運営管理、ヘルス&スポーツ
に関する事業およびその付帯業務）
関連事業所　：本社、ＮＥＣグリーンプラザ玉川・溝の口、
ＮＥＣ本社ビル、玉川地区、府中地区、
我孫子地区
審査機関　　：一般財団法人 日本品質保証機構(JQA)
登録証番号　：JQA-E-900066AB
登録日　　：1997年10月31日
有効期限　　：2024年10月30日

ISO14001登録証

（3） 環境推進体制

当社は、社長と環境担当役員をトップマネジメントとし、ＩＳＯ対象範囲と範囲外に体制 を分けて構築・運用しています。３ヶ月ごとに開催する環境経営委員会において、重要事項を審議し、地区環境管理委員会において周知徹底を図っています。



環境推進体制図（2024年4月現在）

© NEC Corporation 2024

（4）順守義務・順守評価

① 順守義務　＜2023年度重点活動方針＞

当社は、「廃棄物処理法」他、約40の環境関連法が該当しますが、以下のとおり各項目別にガイドライン等の作成、専門教育等を実施し、法令違反および環境事故の未然防止に取り組んでおります。

◆廃棄物管理

＜産業廃棄物処理委託会社の管理＞

当社は、65社の産業廃棄物処理会社に産業廃棄物の処理を委託しています。
各委託会社については、最新版の許可証（写し）を取り寄せて、その有効性の確認（**許可証期限管理**）を実施しています。
また、契約時、および3年毎に処理場等に赴き、**現地確認**を実施しています。
2023年度では、16社の現地確認を実施しました。※優良会社のHP確認等含む

現地確認実施状況（中間処理業者　2023.7.13）

◆化学物質管理

当社は、以下のとおり、化学物質の管理を徹底しています。
※当社で使用している化学物質は主に洗剤です。

- 新規使用時の内容確認（アセスメントの実施）
- 化学物質使用一覧、ＳＤＳ（安全データシート）の掲示
- 漏えい対策
- 保管方法の対策（塩素と消毒用アルコールを離して保管）
- 保護具の着用、小分け洗剤の表示
- 定期棚卸

また、化学物質に関するルールについて、現場責任者のためにわかりやすくまとめた「**化学物質運用ガイドライン**」を作成し、職場責任者教育で周知しています。

© NEC Corporation 2024

◆フロン機器管理

当社は、以下のとおり、フロン機器の管理を徹底しています。

・フロン機器使用台帳の作成
・簡易点検、定期点検
・漏えい時の対応
・廃棄時のフロンの回収、破壊
・定期棚卸

また、フロン機器に関するルールを現場責任者のためにわかりやすくまとめた「**フロン機器運用ガイドライン**」を作成し、職場責任者教育で周知しています。

化学物質運用ガイドライン

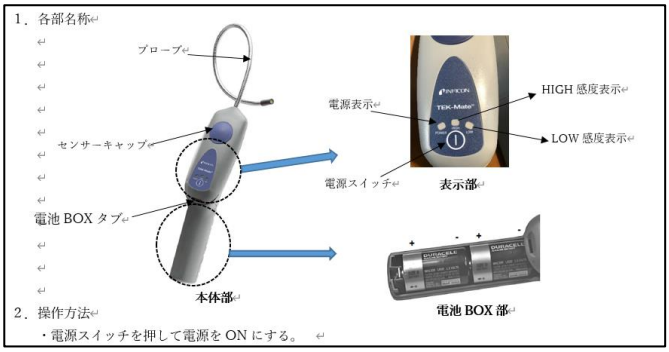
フロン機器運用ガイドライン

≪フロン漏えい対策≫

法令違反の観点だけでなく、環境事故対策として、フロン機器の経年劣化によるフロンガス漏えい対策を実施しています。

①設置15年以上の機器の更新
・2023年度は、計画40台のところ56台を更新完了

②フロン検知器による点検
・検知器を3台導入　※フロン検知器 取り扱い簡易手順書作成



フロン検知器 取り扱い簡易手順書

© NEC Corporation 2024

◆プラスチック資源循環

当社は、特定プラスチック使用製品の提供事業者で、その削減に向け合理化策を展開しております。

2023年度使用量実績は0.092トンで、目標の0.192トンを大幅に削減しました。

また、2024年度使用量目標は、0.092トン（基準年比90％削減）と設定しました。

◆宿泊施設関係（NEC三田ハウス等）

・アメニティ備品（歯ブラシ、 カミソリ、くし、ヘアキャップ）は、全てバイオマス20～40％配合品を使用。

・フロント置きし、必要な人に提供する。

◆売店関係

・カフェコーナーのストローは提供中止。（売店で有料販売）
マドラーは、紙製を使用。
※本社ビルFIELDのカフェのストローは竹製、マドラーも木製を使用。

・NEC事業場応接ゾーンのお客様サービスコーナーで提供のペットボトル飲料は缶飲料を使用。

アメニティ備品の提供（バイオマス配合品・フロント置き）＜NEC三田ハウス＞

マドラー：紙製を使用

ストロー：有料化

ペットから缶飲料へ
＜お客様サービスコーナー＞

また、当社は、プラスチック使用製品産業廃棄物等の排出事業者でもあり、2023年度排出量は、74トンで、前年度より5トン削減いたしました。

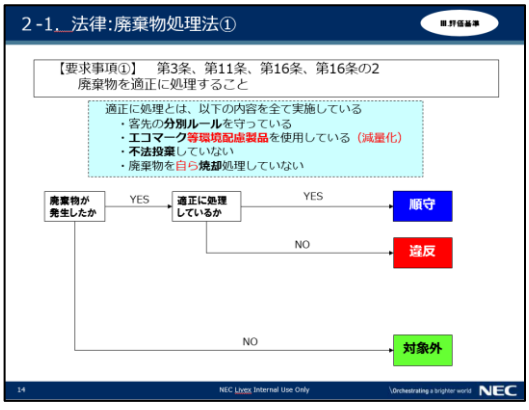
© NEC Corporation 2024

② 順守評価

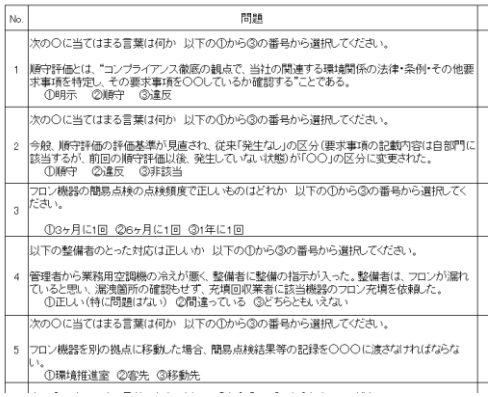
当社は、全ての拠点に関係する環境関連の法律、条例、その他要求事項を調査し、その順守評価を毎年、実施しています。
2023年度も 全ての法律、条令の改正情報をチェックのうえ、特定したリストを更新し、10月に順守評価を実施し全拠点の『法律違反なし』を確認しております。

＜当社順守評価のポイント＞

法規制等の内容は、法律用語が使われるため、専門的知識を持たない現場の人にはどうしても理解しづらい部分があります。
そこで当社では、適正な評価結果ができるよう、作業内容に照らしてYes・Noを選択することで、適正な評価につながる**「順守評価ガイドライン」**を作成し、現場の人からも、わかりやすいと好評を得ています。
また、順守評価をする人、その評価結果のチェックをする人は、力量確保のため毎年、**「順守評価者教育」**を実施し、理解度テストで全問正解しないと評価資格があたえられません。



順守評価ガイドライン



No.	問題
1	次の○に当てはまる言葉は何か 以下の①から③の番号から選択してください。 順守評価とは、"コンプライアンス徹底の観点で、当社の関連する環境関係の法律・条例・その他要求事項を特定し、その要求事項を○○しているか確認する"ことである。 ①明示 ②順守 ③違反
2	次の○に当てはまる言葉は何か 以下の①から③の番号から選択してください。 今般、順守評価の評価基準が見直され、従来「発生なし」の区分（要求事項の記載内容は自部門に該当するが、前回の順守評価以後、発生していない状態）が「○○」の区分に変更された。 ①順守 ②違反 ③非該当
3	フロン機器の簡易点検の点検頻度で正しいものはどれか 以下の①から③の番号から選択してください。 ①3ヶ月に1回 ②6ヶ月に1回 ③1年に1回
4	以下の整備者のとった対応は正しいか 以下の①から③の番号から選択してください。 管理者から業務用空調機の冷えが悪く、整備者に整備の指示が入った。整備者は、フロンが漏れていると思い、漏洩箇所の確認もせず、充填回収業者に該当機器のフロン充填を依頼した。 ①正しい（特に問題はない） ②間違っている ③どちらともいえない
5	次の○に当てはまる言葉は何か 以下の①から③の番号から選択してください。 フロン機器を別の拠点に移動した場合、簡易点検結果等の記録を○○○に渡さなければならない。 ①環境推進室 ②客先 ③移動先

順守評価者教育理解度テスト

また、順守評価以外にも内部統制推進部による業務監査、地区環境管理委員会および事務局による環境パトロール等により現地、現物の状況を確認し、コンプライアンスが徹底されているか確認をしています。

© NEC Corporation 2024

（5） 緊急事態対応

当社は、発生する可能性のある環境事故・法律違反を想定して、以下の6項について**緊急事態リスクとして特定**しています。

・洗剤等の排水への流出
・フロンの漏えい
・廃棄物の不法投棄
・廃食油運搬および保管時の客先敷地内への漏えい
・車両からの燃料等オイルの漏えい
・次亜塩素酸ソーダタンクからの漏えい　＊

＊　NECグリーンスイミングクラブ（玉川・溝の口）のみ該当

この緊急事態リスクの発生に備え、個々の**緊急事態対応手順書**を作成し、各拠点には**緊急事態対応備品**（吸着シート等）を整備しています。
また、毎年、上記リスクのいずれかの**緊急事態対応訓練**を実施しています。

2023年度は、「化学物質の漏えい」を想定して訓練を実施しました。
「化学物質漏えい時の対応手順書」の内容に問題はないか検証し、手順書の見直しは、“なし“というテスト結果が得られました。

我孫子地区

玉川地区

© NEC Corporation 2024

（6） 環境教育・意識啓発活動

当社は、各種環境教育の実施および環境意識啓発の発信等を行い、従業員の環境意識啓発および力量確保を図っています。

①環境教育の実施

毎年4月に教育プログラムを計画し、実施結果は報告書として記録しています。
全体の教育体系は、以下の表のとおりですが、力量確保が求められる教育は、理解度テストを実施し、力量を確認しています。
また、2023年度の教育統一テーマは「私たちが進むべきLIVEXの環境活動」を取り上げました。

区分	教育・訓練名	対象者	実施時期
意識啓発	入社時教育	パート等	適宜
		社員(新卒)	4 月
		社員(中途)	適宜
	環境集合教育	本社ビル、府中、玉川、我孫子	6月
	一般従業員教育	上記以外ISO認証拠点：従業員	11月
		ISO認証拠点以外：管理監督職	
	作業に準じた各種教育	電子ﾏﾆﾌｪｽﾄ担当者、職場責任者等	適宜
力量確保	著しい環境側面従事者	特管産廃管理者＜資格維持＞	適宜
	緊急事態対応訓練	認証拠点	8月、4Q
	順守評価者教育	順守評価者・承認者	9 月
	内部監査員新任教育	内部監査員（新任）	適宜
	内部監査員フォローアップ教育	内部監査員（既存）	9 月

環境教育体系

◆環境集合教育（6月）

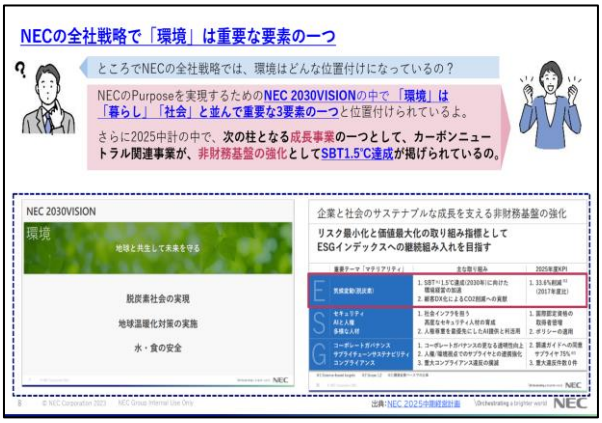
私たちが進むべきLIVEXの環境活動教育として、6月に環境集合教育を実施しました。
全ての行動に優先するのがコンプライアンスであり、LIVEXらしい、お客様目線・創意工夫・サービス向上・チームで活動について、どのように取り組めるかを勉強しました。（計149人受講）

© NEC Corporation 2024

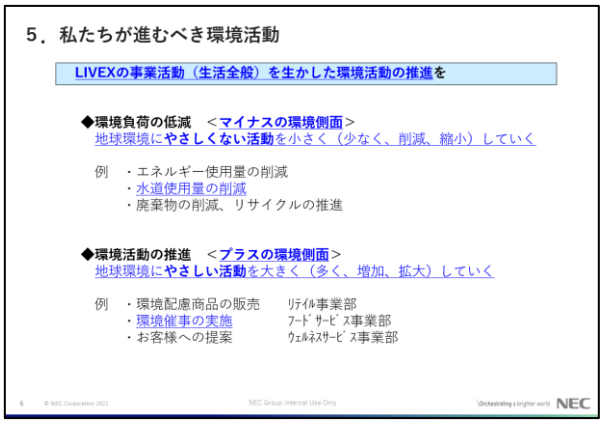
環境集合教育資料

◆一般従業員教育（11月）

2023年度の一般従業員教育は、環境集合教育（6月）に実施した従業員を除いたISO認証拠点の従業員および認証拠点以外の管理・監督職を対象に実施しました。
また、教育資料は、NECグループ共通資料と当社独自資料を使用しました。
（計252人受講）



2023一般従業員教育資料
＜NECグループ共通＞



2023一般従業員教育資料
＜当社独自＞

© NEC Corporation 2024

②意識啓発活動の実施

当社は、環境月間諸行事等を実施し、従業員の環境意識の向上を図っています。

◆環境月間

毎年、6月を環境月間として設定し、諸行事を実施しています。
本社ビル・玉川・府中・我孫子・関西・中部の食堂でスペシャルメニューを提供し、またフードロス削減への賛同メーカーより提供を受けた商品をNEC拠点内の売店で販売して、食品ロス削減をアピールしました。
※約3,421食販売（全喫食者の22%）

ライベックス×環境月間『プラントベースを探せ！』（2023.6.14）

◆省エネ月間

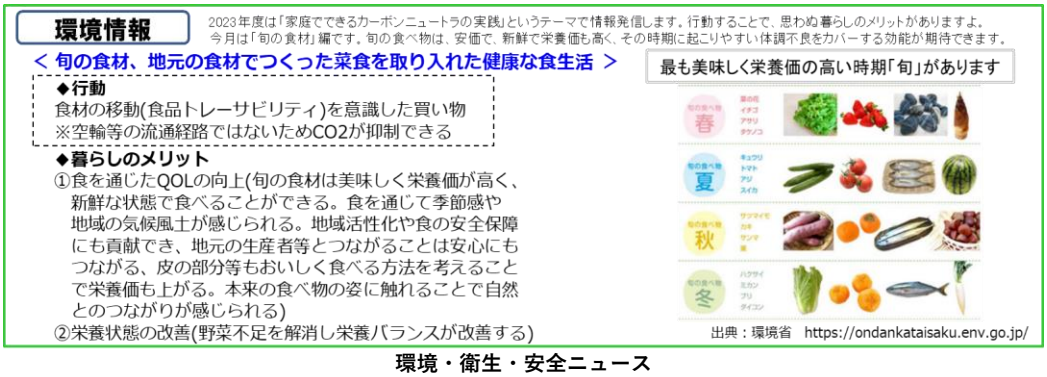
毎年、2月を省エネ月間として設定し、諸行事を実施しています。
2023年度は、ISO全拠点において省エネパトロールを実施し、エネルギー削減につながる指摘や提案事項を抽出しました。

(7) 環境コミュニケーション

当社は、社内外のステークホルダーに対し、各種ツールを活用して積極的に情報発信しています。

①内部（社内）コミュニケーションの実施

2013年度より、従業員への情報提供ツールとして毎月「**環境・衛生・安全ニュース**」を発行しています。2023年度は「家庭でできるカーボンニュートラルの実践」をテーマとしました。



環境・衛生・安全ニュース

②外部（社外）コミュニケーションの実施

2003年度より、毎年、「**環境アニュアルレポート**」を発行し、主なステークホルダーへの配布、および当社ホームページ上に掲載し、一般公開しています。
また、外部からの苦情等については、「**環境情報受付一覧表**」として対応結果を記録しており、2023年度は、苦情等の報告はありませんでした。

© NEC Corporation 2024

（8）内部監査および外部審査･監査

当社は、年間計画にもとづき、内部監査、外部審査を実施しています。
また、 審査・監査において 指摘事項が発生した場合、是正計画をたて、是正結果の有効性確認を実施しております。
2023年度は、以下の監査および審査が行われました。

①内部監査・NEC環境経営監査の実施

2023年度は、11月に4部門の内部監査（当社監査員による内部監査）を実施し、12月に残りの部門（環境部門と4部門）のNEC環境経営監査（NECグループ監査員による監査）を実施いたしました。
監査時にあがった問題点については、全て是正処置、有効性を完了しました。

NEC環境経営監査オープニング（2023.12.21）

© NEC Corporation 2024

3．環境目標および実績

当社は、環境方針を制定し、国際規格である ISO14001に準じた環境マネジメントシステムを構築し、継続的に改善を図るため、年間計画に沿った環境活動を推進しています。

（1） 2023年度環境目標（達成状況）

2023年度は、全項目の環境目標を達成することができました。

活動項目	2023年度目標	2023年度実績	評価
【地球温暖化防止】			
エネルギー使用量（絶対値）の削減	611kl	582kl	○
【資源循環】			
水道使用量の削減	41,522m^3	41,232m^3	○
1食あたりの生ゴミ発生量の削減	46.5g/食	46.4g/食	○
【環境に配慮した事業の推進】			
フロン機器の更新 （リテイル事業部）	40台	56台	○
環境催事の実施 （フードサービス事業部）	2件	2件	○
環境配慮設備の提案 （ウェルネスサービス事業部）	2件	2件	○
ゼロカーボンアクション30 プラスワン活動の推進（実施項目数） （スタフ）	12.3項目	12.3項目	○

【評価基準】　○：達成（100％以上）、△：未達成（90%以上100％未満）、×：未達成（90%未満）

© NEC Corporation 2024

（2） 2024年度 環境目標（計画）

2023年度環境目標は、「NECエコアクションプラン2025」、「環境方針」等に準じ、目標を策定しており、基本的には2023年度の活動の継続となります。
ただし、部門目標については、リテイル事業部が「R22フロン設備の更新」、スタフが「5S活動の推進」と新しい目標にチャレンジしています。

活動項目	2024年度目標	備考
【地球温暖化防止】		
エネルギー使用量（絶対値）の削減	576kl	前年度適正値▲1％
【資源循環】		
水道使用量の削減	41,026m^3	前年度適正値▲0.5％
1食あたりの生ゴミ発生量の削減	46.4g/食	前年度実績以下
【環境に配慮した事業の推進】		
R22フロン設備の更新 （リテイル事業部）	5台	カーボニュートラル施策
環境催事の実施 （フードサービス事業部）	4件	SDGs推進
環境設備の提案 （ウェルネスサービス事業部）	4件	カーボニュートラル施策
5S活動の推進 （スタフ）	7月,11月:備品類廃棄	SDGs推進

© NEC Corporation 2024

4．環境負荷状況 （マテリアルバランス）

当社は、事業に係わるエネルギーや資源の投入量（INPUT）、および事業活動の結果生じた環境負荷の量（OUTPUT）を把握し、環境負荷の削減に向けて取り組んでいます。
2023年度の環境負荷状況は以下のとおりです。※ISO14001認証拠点のみ

【INPUT】

電気　1,619 MWh

ガス　142 km^3

燃料～石油など　0 kl

エネルギー計　582 kl
（前年度比96％：減少）

上水　41.2 km^3
（前年度比103％：増加）

化学物質～法規制　15.1 t
（前年度比120％：増加）

紙　3.0 t
（前年度比88％：減少）

事業活動

【OUTPUT】

CO2　986 t
（前年度比88％：減少）

排水　41.2 km^3
（前年度比103％：増加）

一般廃棄物排出量　33.6 t
（前年度比118％：増加）

産業廃棄物排出量　129.2 t
（前年度比137％：増加）

廃棄物計　163 t
（前年度比132％：増加）

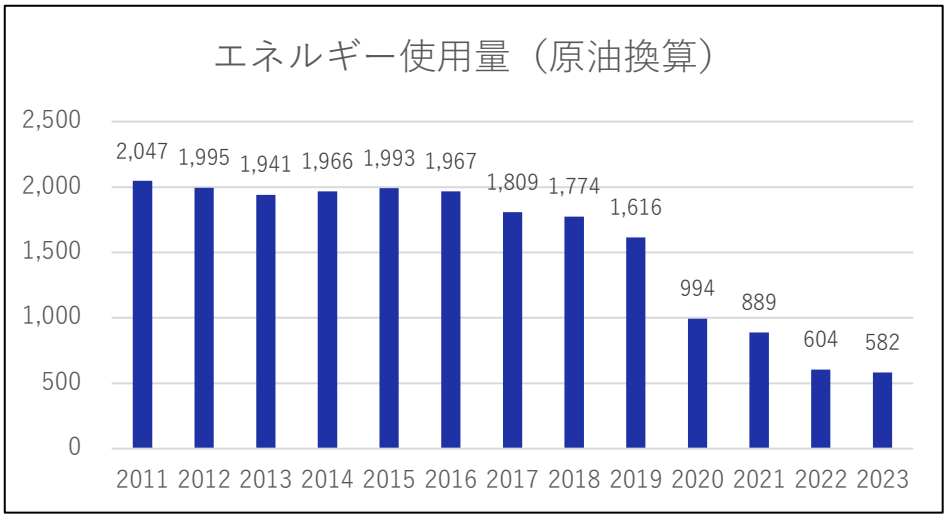
© NEC Corporation 2024

5．主な環境負荷低減活動

当社は、環境負荷低減のため、諸々の活動を計画的に実施しています。

(1)省エネルギーおよび省資源の推進　＜環境方針＞

当社は、環境負荷低減のため、諸々の活動を計画的に実施しています。
※2022年度からエネルギー使用量は、共用部を除いた数値に変更しています。



エネルギー使用量推移

ウェルネスサービス事業部では、NECグリーンスイミングクラブ（玉川・溝の口）において、電気使用量の「見える化」としてスマートクロック（日本テクノ社製）を導入して省エネ活動を推進しています。
これは、電気使用量によってスマートクロック（左下写真）の色が変化し、使用量が目標値を超過するとアラームも鳴る仕組みになっており、会員と従業員と無駄な電気使用の削減に一緒に取り組んでいます。

スマートクロック

管理機器（事務所設置）

館内ポスター

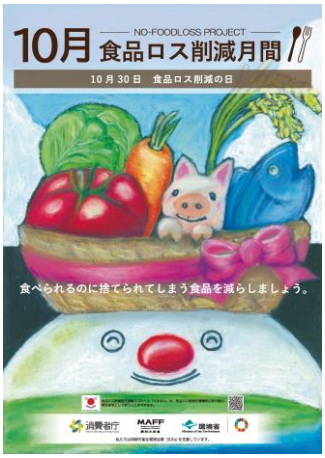
© NEC Corporation 2024

（2）食品ロス等の廃棄物削減およびリサイクルの推進　＜環境方針＞

当社は、廃棄物の排出量を削減するため、諸々の削減活動をしています。

① 食品ロス削減推進法への取り組み

10月の食品ロス削減月間において、環境省・農林水産省・消費者庁が推進するポスターを主要食堂に掲載して、お客様に対して食べ残し削減の推進をいたしました。
なお、2023年度の食品リサイクル法の定期報告において、当社の再生利用等実施率は、66.8%で目標値（56.9%）を大きく上回りました。



食品ロス削減月間ポスター

② 食物循環型システムによるリサイクルの推進

ＮＥＣ事業場の食堂では、排出される生ごみをコンポスト（肥料）化して農家に提供し、その肥料で育った野菜を、食材として購入しています。
新たな食堂メニューとして提供するほか、売店で新鮮野菜として販売することで、「食物循環型システム」 を実践しています。

＜食物循環型システムの例＞

リテイル事業部では、ＮＥＣ玉川事業場売店において、ＮＥＣと共催し、６月と11月に「食物循環型システム」で栽培した有機野菜の販売会を実施しています。
当日の朝に収穫した新鮮な野菜をお手頃な価格で提供しながら、売店を利用する多くの従業員へ活動を紹介し、コンポストも無償配付して環境意識の啓発も行っています。
※2020から2023年度は、コロナ禍の影響を受け実施できませんでした。

新鮮野菜販売会＜2019年度＞

© NEC Corporation 2024

③ 調理ロス対策、売れ残り対策

フードサービス事業部では、運営する食堂に従事する従業員向けに研修会等を実施し、調理におけるロス（材料・熱量）を極力発生させないよう、技術の向上を図っています。

2023年度は、食堂で調製が可能で、かつ大皿料理に盛付け提供することにより食品ロスを少なくすることを学び、高度な調理技術、知識を習得するとともに、より意識の向上が図れました。

また、食材発注数を最適化するために、曜日や天候、イベント有無を加味して在館人数を予想しています。

時間帯別の販売状況から追加調理開始のタイミングをはかり、売り切れによるＣＳ低下の防止と売れ残り防止のバランスを調整することで、食品ロス低減に取り組んでいます。

調理研修会・FC開発研修センター　＜2023年9月＞

④ フードロス削減

フードサービス事業部では、3社（府中市・キユーピー・ＮＥＣ）と協力し、食品ロス削減のためのエコレシピを提供しました。これらのコラボメニューは、通常捨てられがちな食材の部位を活用したもので、ランチを食べることにより手軽に食品ロス削減に参加することができます。ＳＤＧｓランチは、味の素様が監修している持続可能な食事プログラムです。このランチは、野菜を無駄なく丸ごと使用し、食品ロスを減らすことを目指しています。栄養バランスにも配慮され、健康的な食生活をサポートします。

府中市エコレシピメニューの提供　＜2023年8月＞

野菜丸ごと！ＳＤＧｓランチ　＜2023年10月＞

© NEC Corporation 2024

（3）環境に配慮した商品およびサービスの提供　＜環境方針＞

当社は、お客様の環境負荷を削減するため、様々な活動を実施しています。

① 環境に配慮した防災備蓄品の提案

ウェルネスサービス事業部では、ＮＥＣおよびNECグループ会社に納入している防災備蓄品の更新時に、環境配慮型製品（省資源、省スペース、長寿命）　との入替えを提案しています。
これにより、お客様の備蓄品の保管スペースの削減や使用後の包装 ・空缶等の廃棄物を抑制できます。
2023年度もビルの移転、ビルのリニューアルに伴う備蓄品移設プランの作成、移設・再配置を実施、さらに使用期限切れのヘルメットの更新を多数実施させて頂きました。

防災備蓄品移設対応状況

防災備蓄品（備蓄米、保存水等）

② フードロス「KURADASHI」商品の販売

リテイル事業部では、フードロス削減への賛同メーカー「KURADASHI」より協賛価格で提供を受けた商品を、本社ビル（FIELD-Plaza）、玉川（くすのき、ルネッサンス、ソリューションセンター）、府中（10号館、8号館）、我孫子、関西ビル、中部ビルで販売を行ないました。
なお、売上の一部については、社会貢献団体に寄付させていただきました。

「KURADASHI」商品の販売ポスター
（2023年6月12日～30日）

「KURADASHI」商品

© NEC Corporation 2024

6．社会貢献活動

当社は、ＮＥＣや地域と一体となり、様々な社会貢献活動を継続して実施しています。

◆地域貢献活動

ウェルネスサービス事業部では、NECグリーンスイミングクラブにて、会員の方等と、敷地内のユーカリやアイビーを剪定した後の枝木を利用して、ドライフラワーやスワッグ作りを行いました。自然の美しさを保存し、それを日常生活の一部にすることができ、自然とのつながりを感じることができました。参加された方からも“廃棄されるはずの枝木を再利用することで環境保護に貢献でき、リサイクルやアップサイクルの意識が高まりました”といった声が寄せられました。

敷地内のユーカリ、アイビー

ユーカリドライフラワー

じゃんけんゲーム

© NEC Corporation 2024

環境アニュアルレポート2024

株式会社ＮＥＣライベックス
〒108-8305　東京都港区三田1-4-28 三田国際ﾋﾞﾙ6F
TEL:03-3455-0333(代表)
発行日：2024年8月30日
発行責任者：福島　光
お問い合わせ先：環境推進室
TEL.03-3455-0086　　FAX.03-3455-0584
e-mail：　kaneian@livex.jp.nec.com
☆本レポートはインターネットでもご覧いただけます。
https://www.neclivex.co.jp/environment/index.html

© NEC Corporation 2024

Orchestrating a brighter world
NEC